



題名：【U-22プロコン_Vol.087】チーム開発を支援する「Qiita Team」提供開始！

第 087号—

■ U-22プログラミング・コンテスト
公式Webサイト>>> <https://u22procon.com/>

Diamond Sponsor：SOMPOシステムズ株式会社

発行：U-22プログラミング・コンテスト運営事務局

1 チーム開発を支援する「Qiita Team」提供開始！

U-22プログラミング・コンテスト2020応募にあたり、この度新たに「Qiita Team」を無償利用できる運びとなりましたのでご案内いたします。

「Qiita Team」は、エンジニア向けコミュニティ「Qiita」と同じ法人 Increments株式会社が運営しており、ナレッジ・ノウハウ等の情報共有、作業進捗、メンバー間のコミュニケーションなど、チーム開発をより円滑に進めることを支援するサービスで、国内のIT企業にも多数採用されています。

先日ようやく緊急事態宣言が解除され、学校も再開し始めたものの、今後もソーシャルディスタンスの確保は必要であり、学生の皆様においても、オンラインを活用しながら開発を進めるという機会も多いはずです。

期間限定ではございますが、U-22の応募者限定で、1チームあたりのメンバー数に上限なく、無償でご利用いただけますので、この機に是非ご活用ください。

▼開発環境提供

<https://u22procon.com/apply/develop.html>

Qiita Team環境を利用希望の方は申込書「必要アカウント数」覧に使用予定のメンバー数も併せてご記入ください。

また、各環境、申込多数の場合は、先着順とし、以降の受付を停止する場合があります。

2 過去受賞者からU-22世代に向けたメッセージ

U-22の前身「U-20プログラミング・コンテスト」で経済産業大臣賞を受賞し、その後業界の最前線で働くエンジニアから、U-22世代に向けてメッセージをいただきました。

優れたエンジニアになるための心構えやお薦めの文献などもご紹介いただきましたので、是非ご一読ください。

▼過去受賞者からU-22世代に向けたメッセージ

<https://u22procon.com/archives/>

- 奥田 遼介氏 株式会社Preferred Networks
- 三村 聡志氏 株式会社イエアエセキュリティ





3 U-22プログラミング・コンテスト協賛企業紹介

U-22プログラミング・コンテスト2020を支えていただく協賛企業をご紹介します。

▼株式会社オービックビジネスコンサルタント (<https://www.obc.co.jp/>)

株式会社オービックビジネスコンサルタントは、クラウド会計ソフト「勘定奉行クラウド」などの、基幹業務システム「奉行クラウドシリーズ」を軸に、業界No1のシェアとポジションを獲得しているクラウドソフトウェアメーカーです。
『奉行シリーズ』は日本全国約55万社以上に導入しており、中堅・中小企業を中心に企業の柱となる基幹業務の効率化に貢献しています。

▼さくらインターネット株式会社 (<https://www.sakura.ad.jp/>)

さくらインターネットは、国内最大級の大容量・高速バックボーンと自社運営のデータセンターを所有するインターネットサービス事業者です。高品質かつコストパフォーマンスの高いサービスを提供しております。
代表の田中は、高専在学中にロボコン参加経験もあり、プロコンにおいては、未来へ羽ばたくプログラマーの応援に力を入れております。

4 U-22プログラミング・コンテスト2020委員紹介

2020年のコンテストを支える委員の皆様をご紹介します。

●実行委員長 青野 慶久 (サイボウズ株式会社 代表取締役社長)

1971年生まれ。愛媛県今治市出身。大阪大学工学部情報システム工学科卒業後、松下電工（現パナソニック）を経て、1997年8月愛媛県松山市でサイボウズを設立。2005年4月代表取締役社長に就任（現任）。

社内のワークスタイル変革を推進し離職率を6分の1に低減するとともに、3児の父として3度の育児休暇を取得。2011年から事業のクラウド化を進め、2016年にクラウド事業の売上が全体の50%を超えるまで成長。総務省、厚労省、経産省、内閣府、内閣官房の働き方変革プロジェクトの外部アドバイザーや一般社団法人コンピュータソフトウェア協会の副会長を務める。著書に『ちよいデキ！』

（文春新書）、『チームのことだけ、考えた。』（ダイヤモンド社）、『会社というモンスターが、僕たちを不幸にしているのかもしれない。』（PHP）がある。





○審査委員長

笥 捷彦（東京通信大学 教授）

1970年東京大学大学院卒業後、同校助手、立教大学助教授などを経て1986年早稲田大学理工学部（現、基幹理工学部）教授に就任、2016年には同校名誉教授となる。情報処理技術の標準化と情報教育推進に注力し、ACM-ICPC日本ICPC Board 議長、パソコン甲子園プログラミング部門 審査委員長など、多数コンテストの委員経験をもつ。

U-22プログラミング・コンテストには2015年より審査委員長として関与、現在は情報オリンピック日本委員会理事長、情報科学国際交流財団理事長なども兼任する。

5 U-22プログラミング・コンテスト運営事務局について

CSAJおよびU-22プログラミング・コンテスト運営事務局は緊急事態宣言解除を受け、完全テレワーク体制から、ソーシャルディスタンスが確保可能な一部一部テレワーク体制へと変更いたしました。

事務局の問い合わせはTEL・メール両方で受付可能（9:30～17:30）です。しかし、TELによる問合せは時間がかかる場合もございますので、これまで同様、メールでお問い合わせいただくことを推奨しています。

※U-22プロコンメルマガは最新情報をお届けします。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
U-22プログラミング・コンテスト運営事務局
〒107-00 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル4F
TEL : 03-6435-5991 FAX : 03-3560-8441 E-mail : u22-info@csaj.jp
公式Webサイト <https://u22procon.com/>
▼コンテストの最新情報はU-22メルマガで配信中！
<https://www.csaj.jp/u22mailmaga/index.php>
Facebook・twitter 「@u22procon」で検索
LINE <https://line.me/R/ti/p/%40450ddqai>

